

神戸市立西神戸医療センター理学療法レジデント Q&A 集

Q：病院の特徴を教えてください？

A：神戸市西区にある一般病床 425 床（うち ICU、CCU 10 床）、結核病床 45 床、計 470 床の高度急性期・急性期医療を提供する病院です。地域医療支援病院、国指定地域がん診療連携拠点病院などの認定を受けています。また DPC 標準病院群 1 に該当しています。

Q：病院やリハビリテーション技術部の目標を教えてください。

A：病院理念や基本方針は当院ホームページをご覧ください。リハビリテーション技術部の目標は下記の通りです。

ミッション（使命）

患者の早期回復と生活の質向上を支えるために、安全で質の高い急性期リハビリテーションを提供する。

ビジョン（未来の姿）

チームワークと専門性を活かし、医療現場をリードするリハビリテーションチームを目指し、院内外のシームレスな連携を実現する。

バリュー（行動指針）

1. 患者中心のケア
 - 患者・家族のニーズを最優先に考えたリハビリテーションを提供する。
2. 多職種連携の推進
 - 他職種と協力し、統合的な医療を実現する。
3. 専門性の向上
 - 知識と技術を研鑽し、最新のエビデンスを取り入れる。
4. チームワークの強化
 - スタッフ間の連携を深め、相互に支え合う環境を作る。
5. 業務の効率化
 - 限られた時間と資源を最大限に活用し、効果的にリハビリテーションおよび業務を遂行する。
6. 地域連携強化
 - リハビリテーションを通じて地域医療機関とのコミュニケーションを促進し、神戸西地域における地域連携強化を図る。

Q：チーム医療にはどのようなものがありますか？

A：栄養サポートチーム（NST）、呼吸ケアマネジメントチーム（RMT）、心臓リハビリテーションチーム、糖尿病療養指導支援チームなど様々なチームが存在します。

Q：チーム医療ではどのようなことを学べますか？

A：回診やカンファレンスの参加、希望するチーム活動への参加が可能です。脳神経外科病棟のカンファレンスでは脳神経外科医による脳画像のレクチャーの機会があります。NSTでは院内独自に栄養サポートに関する認定資格を設けており、NSTプライマリートレーニングを受講後に認定試験を受験することができます。またRMTでは酸素療法に関する勉強会や吸引研修などを受講することができます。

Q：どのような疾患が経験できますか？

A：1～2年目の方が担当する代表的な疾患は、神経系では脳卒中、神経筋疾患、頭部外傷、運動器では大腿骨頸部骨折などの骨折術後、変形性関節疾患術後、呼吸器では誤嚥性肺炎、間質性肺炎、COPD、循環器疾患では心不全、心筋梗塞などです。

Q：リハビリテーション技術部（PT、OT、ST）の人員構成を教えてください。

A：2026年4月の段階で役職者は技師長代行1名、主査2名、主任3名です。理学療法士は17名（レジデント1名含む）、作業療法士は7名、言語聴覚士は5名で構成されています。

Q：先輩の認定資格にはどのような資格がありますか？

A：登録理学療法士、認定理学療法士（呼吸）（脳卒中）（運動器）、専門理学療法士（呼吸）、協会指定管理者（初級）（上級）、3学会合同呼吸療法認定士、呼吸ケア指導士、NST専門療法士、心臓リハビリテーション指導士、心不全療養指導士、腎臓リハビリテーション指導士などを取得しています。また、多くのスタッフは、がんのリハビリテーション研修、臨床実習指導者講習会を修了しています。

Q：学術的なことを相談できる先輩はいますか？

A：リハビリテーション技術部には博士課程修了者1名、修士課程修了者5名、修士課程在籍者1名がいます。原著論文や症例報告などの英文・和文雑誌への掲載、和文著書（分担執筆）の経験者が在籍しています。

Q：先輩はどのような社会活動をされていますか？

A：兵庫県理学療法士会代議員、兵庫県理学療法士会生涯学習部部員、日本栄養・嚥下理学療法学会評議員、日本糖尿病理学療法学会評議員、神戸学院大学非常勤講師などの活動をしています。

Q：急性期医療以外の知識を得る機会はありますか？

A：近隣の回復期病棟や地域包括ケア病棟、在宅での訪問リハにご協力を頂き、見学研修を予定しています。

Q：部署独自の定期勉強会はありますか？

A：リハビリテーション技術部内で定期的に勉強会や症例検討会を実施しています。それ以外にも院内の各種チームや診療科、部署によるオープンカンファレンスにも参加することが出来ます。

Q：給料面を教えてください。

A：募集要項をご参照下さい。

Q：学術的なことに興味はありますが、ハードルが高いと感じています。まずは何かから取り組めばよいでしょうか？

A：初学者には症例報告を推奨しています。学会の地方会レベルでの発表を目標に指導者が支援します。

Q：神戸市立西神戸医療センターのレジデントの特色を改めて教えてください。

A：特色のキーワードは、「高度急性期医療」、「高齢者」、「チーム医療」などです。これらをバランスよく、一緒に学びましょう。2次救急病院であり、特に高齢者特有の Common disease における理学療法を多職種と協同しながら多く診療することが出来ます。また運動器疾患は入院中だけでなく、必要に応じて外来フォローまで経験することも可能です。

Q：指導体制を教えてください。

A：担当指導者1名が主の指導者となります。また、疾患のローテーション時にはそれぞれの疾患別の担当者（登録・認定・専門理学療法士）も指導に当たります。